

1 監査第70号

令和元年8月20日

京丹後市長 三崎政直様

京丹後市監査委員 東 幹夫

京丹後市監査委員 藤田 太

平成30年度京丹後市公営企業会計決算の審査意見について

地方公営企業法第30条第2項の規定により、審査に付された平成30年度京丹後市水道事業会計及び京丹後市病院事業会計の決算について審査したので、別紙のとおり意見書を提出します。

平成 30 年度

京丹後市公営企業会計決算審査意見書

京丹後市水道事業会計

京丹後市病院事業会計

京丹後市監査委員

目 次

第1	審査の概要	1
1	審査の対象	1
2	審査の期間	1
3	審査の方法	1
第2	審査の結果	1
1	水道事業	2
(1)	事業の概況	2
(2)	予算執行状況（税込）	2
ア	収益的収入及び支出	2
イ	資本的収入及び支出	3
(3)	経営成績（税抜）	4
(4)	財政状態（税抜）	5
(5)	むすび	6
2	病院事業	8
(1)	事業の概況	8
ア	入院患者の状況	8
イ	外来患者の状況	8
ウ	訪問看護事業の状況	9
エ	通所リハビリテーション事業の状況	9
(2)	予算執行状況（税込）	9
ア	収益的収入及び支出	9
イ	資本的収入及び支出	10
(3)	経営成績（税抜）	12
(4)	財政状態（税抜）	13
(5)	むすび	15
	決算審査資料	17

第1 審査の概要

1 審査の対象

平成30年度京丹後市水道事業会計決算
平成30年度京丹後市病院事業会計決算
上記各会計決算附属書類

2 審査の期間

令和元年6月28日から令和元年8月20日

3 審査の方法

審査に当たっては、市長から提出された各事業会計の決算書及び附属書類が、地方公営企業法及び関係法令に準拠して作成され、計数が正確であるか、各事業の経営成績及び財政状態が適正に表示されているかを確認するため、関係諸帳簿と照合したほか、関係職員から説明を聴取して実施した。

第2 審査の結果

審査に付された各事業会計決算書及び附属書類は、地方公営企業法及び関係法令に準拠して作成されており、これらに記載された計数は正確で、経営成績及び財政状態を適正に表示していると認められた。また、予算の執行及び関連する事務の処理は、適正に行われているものと認められた。

審査の結果の詳細は、以下のとおりである。

なお、文中及び表中の数値は、四捨五入を基本として（収入率及び執行率は、小数点第2位を切捨て）表示しているため、合計等の数値が一致しない場合がある。

1 水道事業

(1) 事業の概況

事業の概要は、別表1のとおりである。

給水件数は13,604件で、前年度に比べて72件増加しているが、給水人口は385人減少して29,294人となっている。

年間総配水量は4,213,083 m³で、前年度に比べて67,375 m³の減少となっており、年間総有収水量は3,340,879 m³と8,139 m³の増加となっている。

有効率は81.19%、有収率は79.30%で、前年度に比べ有効率は1.47ポイント、有収率は1.44ポイント上昇している。

給水人口が年々減少していることに加え、社会経済情勢や生活様式の変化に伴う市民の節水意識の向上などによる水需要の変動については、引き続き注視していかねばならない。

管路の状況は、次のとおりである。

(単位：km、%)

区 分	平成30年度	平成29年度	平成28年度
管路総延長	362.5	361.6	359.4
石綿管総延長	6.9	6.9	7.2
石綿管布設率	1.9	1.9	2.0

管路総延長362.5 kmのうち、石綿管は6.9 km (1.9%)と前年度から改善が図られていない。有収率の向上を図る上からも、引き続き老朽管の布設替等が必要であり、特に石綿管の布設替を優先して、更新を計画的に進められたい。

(2) 予算執行状況 (税込)

ア 収益的収入及び支出

収益的収入の予算執行状況は、次のとおりである。

(別表2、決算書P1, P2参照)

(単位：千円、%)

区 分	予算額	決算額	増減額	収入率
水道事業収益	721,303	722,234	931	100.1
営業収益	643,832	676,650	32,818	105.0
営業外収益	77,471	45,584	△31,887	58.8

収益的収入である水道事業収益は、予算額7億2,130万3千円に対して決算額7億2,223万4千円で、収入率は100.1%となっている。これは、長期前受金戻入が448万円、消費税及び地方消費税還付金が2,789万5千円予算額を下回った一方で、給水収益が3,220万2千円上回ったことなどによるものである。

収益的支出の予算執行状況は、次のとおりである。

(別表 2、決算書 P1, P2 参照)

(単位：千円、%)

区 分	予算額	決算額	不用額	執行率
水道事業費用	829,593	720,667	108,926	86.8
営業費用	746,222	664,527	81,695	89.0
営業外費用	59,255	56,140	3,115	94.7
特別損失	23,616	0	23,616	0.0
予備費	500	0	500	0.0

収益的支出である水道事業費用は、予算額 8 億 2,959 万 3 千円に対して決算額 7 億 2,066 万 7 千円で、執行率は 86.8%である。不用額の主なものは、営業費用で原水及び浄水費 3,075 万円、減価償却費 2,272 万 7 千円、営業外費用で支払利息及び企業債取扱諸費 323 万 7 千円、特別損失で資産減耗費 2,361 万 6 千円である。

イ 資本的収入及び支出

資本的収入の予算執行状況は、次のとおりである。

(別表 3、決算書 P3, P4 参照)

(単位：千円、%)

区 分	予算額	決算額	増減額	収入率
資本的収入	1,033,517	495,280	△538,237	47.9
加 入 金	6,073	7,136	1,063	117.5
企 業 債	549,000	245,100	△303,900	44.6
補 助 金	1,344	1,344	0	100.0
出 資 金	477,100	241,700	△235,400	50.6

資本的収入は、予算額 10 億 3,351 万 7 千円に対して決算額 4 億 9,528 万円で、収入率は 47.9%である。これは、予算額に対して加入金が 106 万 3 千円上回った一方で、企業債が 3 億 390 万円、他会計出資金が 2 億 3,540 万円下回ったことによるものである。

資本的支出の予算執行状況は、次のとおりである。

(別表 3、決算書 P3, P4 参照)

(単位：千円、%)

区 分	予算額	決算額	翌年度繰越額	不用額	執行率
資本的支出	1,360,691	760,820	584,274	15,597	55.9
建設改良費	1,204,054	604,184	584,274	15,596	50.1
企業債償還金	156,637	156,636	0	1	99.9

資本的支出は、予算額 13 億 6,069 万 1 千円に対して決算額 7 億 6,082 万円で、5 億 8,427 万 4 千円を翌年度に繰り越し、執行率は 55.9%となった。主な不用額は、

固定資産取得費 828 万 9 千円、施設改良事業費 730 万 7 千円である。

主な施設整備の状況は、次のとおりである。

(決算書 P17 参照)

(単位：千円)

区 分		内 容	金 額
建設改良 (500 万円 以上)	浄水 施設	中野浄水場更新工事（機械設備） 継続費 平成 29 年度分	301,980
		中野浄水場更新工事（土木 I 期） 継続費 平成 29 年度分	193,180
	配水 施設	平成 30 年度 杉谷地区配水管布設替工事	44,690
		長岡地区管渠布設工事その 30（水道単独分）	14,131
		長岡地区管渠布設工事その 31（水道単独分）	7,763

安全で安心な水道水の安定供給を図るために、中野浄水場更新工事、下水道工事に併せた老朽管の布設替工事などが計画的に実施されている。中野浄水場更新工事は通次繰越となっており、次年度以降についても、将来を見通した的確な財務分析による計画的かつ効率的な事業推進を期待するものである。

なお、資本的収入額が資本的支出額に対して不足する額 2 億 6,554 万円は、当年度分消費税及び地方消費税資本的収支調整額 4,422 万 6 千円、過年度分損益勘定留保資金 2 億 2,131 万 4 千円で補てんしている。（別表 3-(3) 参照）

(3) 経営成績（税抜）

損益計算書による経営成績は、次のとおりである。

(別表 4 参照)

(単位：千円、%)

区 分	平成 30 年度	平成 29 年度	平成 28 年度	平成 27 年度	平成 26 年度
総 収 益 (A)	660,461	667,378	619,444	675,657	618,910
総 費 用 (B)	704,256	701,377	704,331	724,583	738,934
純 損 益	△43,795	△33,999	△84,887	△48,926	△120,024
比 率 (A)/(B)	93.8	95.2	87.9	93.2	83.8

総収益 6 億 6,046 万 1 千円に対して総費用は 7 億 425 万 6 千円で、差し引き 4,379 万 5 千円の純損失となっている。この結果、前年度繰越利益剰余金 2 億 8,836 万 9 千円と差し引きし、当年度未処分利益剰余金は 2 億 4,457 万 4 千円と減少した。（別表 9 参照）

総収益は、営業収益の給水収益（水道使用料）が 209 万 2 千円増加しているが、営業外収益の長期前受金戻入が 823 万円減少したことなどにより、前年度に比べて 691 万 7 千円（1.0%）の減少となった。

総費用は、営業費用の減価償却費が 378 万 6 千円、営業外費用の支払利息が 331 万

5千円減少した一方で、営業費用の原水及び浄水費が250万7千円、配水及び給水費が501万5千円増加したことなどにより、前年度に比べて287万9千円(0.4%)増加した。

有収水量1^m3当たりの供給単価及び給水原価は、次のとおりである。

(別表1参照)

(単位:円)

区 分	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度	平成26年度
供給単価 ①	184.94	184.76	184.17	184.41	172.15
給水原価 ②	201.68	198.84	216.33	204.09	201.47
利益 ①-②	△16.74	△14.08	△32.16	△19.68	△29.32

供給単価は前年度に比べて18銭高く、給水原価は2円84銭高くなっている。その結果、有収水量1^m3当たりの赤字額は前年度に比べて2円66銭増加し、16円74銭となった。給水人口の減少とともに、節水意識の向上、節水型家電製品の普及などによって水需要の増加が見込めないことや、施設整備等で減価償却費が大きくなる傾向から、慢性的な赤字経営体質であることを示している。

また、総収支比率は、別表5のとおり93.8%と9年連続の純損失となり、経常収支比率も93.8%で8年連続の単年度赤字となった。

(4) 財政状態(税抜)

貸借対照表による財政状態は、次のとおりである。

(別表6~9参照)

(単位:千円)

区 分	平成30年度	平成29年度	平成28年度	
資 産	固 定 資 産	6,490,968	6,244,357	6,399,566
	流 動 資 産	1,598,707	1,249,612	1,231,270
	計	8,089,675	7,493,969	7,630,836
負 債	固 定 負 債	2,818,459	2,726,499	2,880,235
	流 動 負 債	629,946	316,811	290,840
	繰 延 収 益	831,738	839,032	817,035
	計	4,280,143	3,882,342	3,988,110
資 本	資 本 金	3,039,502	2,797,802	2,794,902
	剰 余 金	770,030	813,825	847,824
	計	3,809,532	3,611,627	3,642,726
負債資本合計	8,089,675	7,493,969	7,630,836	

資産の総額は80億8,967万5千円で、前年度に比べて5億9,570万6千円(7.9%)増加している。固定資産の増加は、機械及び装置が1億4,190万9千円減少した一方

で、建設仮勘定が4億6,183万1千円増加したことによるもので、流動資産の増加は、前払金が5,450万3千円減少した一方で、現金預金が3億8,216万7千円、未収金が2,127万5千円増加したことによるものである。

流動資産である水道料金の未収金の状況は、次のとおりである。(別表10参照)
平成31年3月31日現在 (単位:千円、件)

区 分	平成30年度		平成29年度		平成28年度	
	件数	金額	件数	金額	件数	金額
未 収 金	26,181	96,863	26,372	102,959	26,292	96,951
不 納 欠 損	263	468	378	2,135	833	2,256
債 権 放 棄	263	468	358	1,467	374	1,143
債 権 消 滅 等	0	0	20	668	459	1,113

未収金の総額は9,686万3千円で、前年度に比べて609万6千円減少(件数は191件減少)している。未収金対策としては、給水停止の実施や京丹後市債権の管理に関する条例に基づき、債権放棄263件、46万8千円の不納欠損を処理した。

負債の総額は42億8,014万3千円で、前年度に比べて3億9,780万1千円増加している。固定負債の増加は、企業債9,196万円の増によるものであり、流動負債の増加は、一時借入金3,590万円、前受金3,590万円減少したものの、未払金が3億8,193万8千円増加したことによるものである。

資本の総額は38億953万2千円で、前年度に比べて1億9,790万5千円(5.5%)増加している。資本金の増加は、利益剰余金4,379万5千円減少(別表9)したものの、自己資本金が2億4,170万円増加(別表8)したことによるものである。

企業債の状況は、次のとおりである。

(決算書P20, P26参照) (単位:千円)

平成29年度末 残高	平成30年度		平成30年度末 残高	平成30年度 支払利息
	発行額	償還額		
2,893,591	209,200	156,636	2,946,155	55,297

企業債残高は29億4,615万5千円で、前年度に比べて5,256万4千円(1.8%)増加している。企業債利息は5,529万7千円で、営業収益(税抜)6億2,707万9千円に占める割合は8.8%と、前年度に比べて0.6ポイント低下している。(別表4参照)

(5) むすび

平成30年度の水道事業会計の経営成績は、事業収益6億6,046万1千円に対して事業費用は7億425万6千円、差し引き△4,379万5千円で、9年連続の当年度純損

失となっている。また、特別損失を除いた経常収支については8年連続の赤字となっており、事業の経営は引き続き厳しい状況である。

収益面では、少子高齢化及び人口減少による給水人口の減少、節水型家電製品の普及、節水意識の向上などによって水需要の増加が見込めない状況にあり、収益の安定した確保が懸念される。費用面では、基幹施設である中野浄水場の更新整備事業や老朽管の布設替工事など、多額の設備投資が必要であり、経営状況はますます厳しいものとなることが予測される。平成31年度には簡易水道事業と経営統合をしたところであり、給水人口及び水需要に応じた浄水場の統廃合や給水エリアの変更が検討され、効率的な事業運営と管理体制が構築されるよう期待する。また、災害対策や緊急時の危機管理等の強化といった点にも留意して、不測の事態が生じても将来にわたって水道事業の健全な運営が確保できるよう、原価計算に基づく料金体系の見直しや維持管理経費等の更なる削減を図るなど一層の努力が望まれる。

水道料金については、平成30年度末の未収金の額は9,686万3千円と前年度に比べて609万6千円の減（令和元年5月末現在は4,446万1千円で前年度に比べて137万1千円の減）となっている。未収金対策として、給水停止の実施や徴収の見込めない不良債権について京丹後市債権の管理に関する条例に基づき不納欠損を処理するなど、滞納整理の努力が見られるが、依然として多額の未収金を抱えている。利用者の負担の公平性の確保と経営の健全化を推し進める観点からも適正な債権の管理は極めて重要であり、法的措置を含めた債権確保の検討や給水停止等の措置を行うなど、引き続き積極的な対応を求めるものである。また、新たな未納者の発生を防ぐため初期の徴収体制を強化するなど、収納率向上のための対策を講じることが必要である。

水道事業は、市民生活や経済活動に不可欠なものである。近年多発する自然災害などへの危機管理、対応は重要な課題であり、緊急事態にも迅速に対応できる体制づくりに取り組むとともに、経営基盤の確立や効率的かつ合理的な運営に一層努められ、より安全で良質な水道水が安定的に供給されるよう期待するものである。

2 病院事業

(1) 事業の概況

事業の概要は、別表 11 のとおりである。

一般病床と療養病床を合わせた入院患者数は、弥栄病院で延 52,843 人（1 日平均 144.8 人）、久美浜病院で延 55,364 人（同 151.7 人）で、前年度に比べて弥栄病院が 6,276 人（同 17.2 人）の減少、久美浜病院が 989 人（同 2.7 人）の増加となった。

外来患者数は、弥栄病院で延 98,025 人（1 日平均 401.7 人）、久美浜病院で延 77,178 人（同 316.3 人）となり、前年度に比べて弥栄病院は 76 人（同 2.0 人）の減少、久美浜病院は 2,314 人（同 9.5 人）の増加となった。

病床利用率は、弥栄病院は、前年度に比べて 8.5 ポイント低下し 72.5%に、久美浜病院は 1.6 ポイント上昇し 89.2%の結果となった。

ア 入院患者の状況

入院患者の状況は、別表 12、別表 15 及び別表 16 のとおりである。

一般病床においては、弥栄病院では眼科、人工透析で患者数が増加したが、内科、整形外科、産婦人科で減少し、延患者数は 37,220 人と、前年度に比べて 7,051 人の減となった。また、久美浜病院では外科、整形外科で患者数が増加したが、内科、小児科、眼科、歯科・歯科口腔外科で減少し、延患者数は 36,274 人で、前年度に比べて 1,217 人の増となった。

療養病床においては、弥栄病院では延患者数が 15,623 人で前年度に比べて 775 人の増、久美浜病院では 19,090 人と前年度に比べて 228 人の減となった。

施設の利用状況を表す病床利用率は、別表 18 のとおりである。

弥栄病院の一般病床の利用率は 68.0%で、前年度に比べて 12.2 ポイント低下し、療養病床では 86.3%で 2.8 ポイント上昇した。久美浜病院の一般病床の利用率は 90.3%で、前年度に比べて 3.0 ポイント上昇し、療養病床では 87.2%と 1.0 ポイント低下した。

イ 外来患者の状況

外来患者の状況は、別表 12 及び別表 17 のとおりである。

弥栄病院では、耳鼻咽喉科、総合診療科、精神科などで患者数が増加したが、外科、産婦人科、眼科などで減少し、延患者数は 98,025 人と、前年度に比べ 76 人の減となった。

久美浜病院では、内科、外科、小児科などで患者数が増加したが、整形外科、泌尿器科などで減少し、延患者数は 77,178 人と、前年度に比べ 2,314 人の増となった。

なお、診療実日数は、弥栄病院が前年度よりも 1 日多い 244 日、久美浜病院が前

年度と同じく 244 日であった。

ウ 訪問看護事業の状況

訪問看護事業の状況は、別表 13 のとおりである。

弥栄病院では、訪問実人数は 2,700 人で前年度に比べ 81 人の増、訪問延人数は 11,091 人で前年度に比べ 567 人の増となった。久美浜病院では、訪問実人数は 1,243 人で前年度に比べ 216 人の増、訪問延人数は 6,046 人で前年度に比べ 1,172 人の増と、共に大幅な増加となった。

高齢化や核家族化が進行する中、訪問患者数は年々増加している。在宅医療の充実や生活の安定のために大切な事業であるので、今後も地域の実状に即した運営を望むものである。

エ 通所リハビリテーション事業の状況

通所リハビリテーション事業の状況は、別表 14 のとおりである。

平成 19 年度から久美浜病院で実施されている事業であり、通所実人数は 577 人で前年度より 54 人の減、通所延人数は 3,974 人と 133 人の減となった。

(2) 予算執行状況（税込）

ア 収益的収入及び支出

収益的収入の予算執行状況は、次のとおりである。

（決算書 P1, P2 及び別表 21 参照）

（単位：千円、%）

区 分	予算額	決算額	増減額	収入率
弥栄病院事業収益	4,660,126	3,922,914	△737,212	84.1
医業収益	4,023,826	3,273,106	△750,720	81.3
医業外収益	524,414	532,138	7,724	101.4
訪問看護事業収益	97,970	103,752	5,782	105.9
特別利益	13,916	13,918	2	100.0
久美浜病院事業収益	2,870,498	2,826,644	△43,854	98.4
医業収益	2,314,102	2,250,575	△63,527	97.2
医業外収益	422,549	433,888	11,339	102.6
訪問看護事業収益	41,136	53,117	11,981	129.1
通所リハビリテーション事業収益	42,454	38,806	△3,648	91.4
特別利益	50,257	50,258	1	100.0
合 計	7,530,624	6,749,558	△781,066	89.6

収益的収入である病院事業収益は、予算額 75 億 3,062 万 4 千円に対して決算額 67 億 4,955 万 8 千円で、収入率は 89.6%となっている。

医業収益は、前年度に比べて減少しており、両病院を合計した減収額は1億345万4千円(弥栄病院2億6,505万6千円の減、久美浜病院1億6,160万2千円の増)であった。

訪問看護事業収益は、両病院共に前年度に比べて増加しており、両病院で1,532万5千円(弥栄病院683万5千円、久美浜病院849万円の増)の増収となった。

収益的支出の予算執行状況は、次のとおりである。

(決算書P3, P4及び別表21参照)

(単位:千円、%)

区 分	予算額	決算額	不用額	執行率
弥栄病院事業費用	4,875,426	4,504,083	371,343	92.3
医業費用	4,346,909	4,072,008	274,901	93.6
医業外費用	89,218	68,098	21,120	76.3
訪問看護事業費用	105,030	98,135	6,895	93.4
特別損失	265,843	265,842	1	99.9
予備費	68,426	0	68,426	0.0
久美浜病院事業費用	2,870,498	2,798,310	72,188	97.4
医業費用	2,693,544	2,659,342	34,202	98.7
医業外費用	52,707	53,174	△467	100.8
訪問看護事業費用	46,860	46,114	746	98.4
通所リハビリテーション事業費用	40,512	36,380	4,132	89.8
特別損失	3,300	3,300	0	100.0
予備費	33,575	0	33,575	0.0
合 計	7,745,924	7,302,393	443,531	94.2

収益的支出である病院事業費用は、予算額77億4,592万4千円に対して決算額73億239万3千円で、執行率は94.2%となっている。不用額は総額4億4,353万1千円で、その大半は、医業費用における給与費及び材料費である。

イ 資本的収入及び支出

資本的収入の予算執行状況は、次のとおりである。

(決算書P5, P6及び別表22参照)

(単位:千円、%)

区 分	予算額	決算額	増減額	収入率
弥栄病院資本的収入	2,069,702	1,778,302	△291,400	85.9
企業債	1,841,400	1,550,000	△291,400	84.1
他会計負担金	119,523	119,523	0	100.0
補助金	106,904	106,904	0	100.0
長期貸付金返還金	1,875	1,875	0	100.0

久美浜病院資本的収入	184,442	184,442	0	100.0
企業債	12,400	12,400	0	100.0
他会計負担金	154,727	154,727	0	100.0
補助金	15,440	15,440	0	100.0
長期貸付金返還金	1,875	1,875	0	100.0
合 計	2,254,144	1,962,744	△291,400	87.0

資本的収入は、予算額 22 億 5,414 万 4 千円に対して決算額 19 億 6,274 万 4 千円で、収入率は 87.0%となっている。

資本的支出の予算執行状況は、次のとおりである。

(決算書 P7, P8 及び別表 22 参照)

(単位：千円、%)

区 分	予算額	決算額	翌年度繰越額	不用額	執行率
弥栄病院資本的支出	2,169,520	1,878,031	0	291,489	86.5
建設改良費	1,956,958	1,665,470	0	291,488	85.1
企業債償還金	206,787	206,786	0	1	99.9
長期貸付金	5,775	5,775	0	0	100.0
久美浜病院資本的支出	282,681	282,661	0	20	99.9
建設改良費	31,195	31,176	0	19	99.9
企業債償還金	245,711	245,710	0	1	99.9
長期貸付金	5,775	5,775	0	0	100.0
合 計	2,452,201	2,160,692	0	291,509	88.1

資本的支出は、予算額 24 億 5,220 万 1 千円に対して決算額 21 億 6,069 万 2 千円で、執行率は 88.1%となっている。

主な施設設備の状況は、次のとおりである。

(決算書 P27～30, P45, P46 参照)

(単位：千円)

区 分	内 容	金 額
建設改良 (5百万円以上)	京丹後市立弥栄病院改築整備等工事	1,392,512
	京丹後市立弥栄病院改築整備等工事工事監理業務	63,612
	弥栄病院電話交換機等設置及び配線等工事	29,399
資産購入 (10百万円以上)	循環器用超音波画像診断装置	11,232
	超音波画像診断装置 (産婦人科)	10,692
	血管内光断層撮影装置	12,312
	診断用 X線発生装置	14,364
	外来表示システム等	16,826

前年度と比較すると、件数、金額共に減少しているが、多くの施設設備の整備を行っている。建設改良の費用として、総額 14 億 8,679 万 7 千円(弥栄病院 14 億 8,679 万 7 千円、久美浜病院 0 円)、医療機器及び医療系システム等については 1 億 5,675 万 8 千円(弥栄病院 1 億 3,000 万 1 千円、久美浜病院 2,675 万 7 千円)を支出した。多様化する患者ニーズに応え、より高度で安全な医療を提供するための投資となっている。

なお、資本的収入額が資本的支出額に対して不足する額 1 億 9,794 万 8 千円は、損益勘定留保資金等で補てんしている。(別表 22 参照)

(3) 経営成績 (税抜)

損益計算書による経営成績は、次のとおりである。

(決算書 P9, P10, P35, P36, P51, P52 及び別表 23 参照)

(単位:千円、%)

区 分	平成 30 年度			平成 29 年度		
	計	弥栄病院	久美浜病院	計	弥栄病院	久美浜病院
総収益 (A)	6,727,897	3,909,607	2,818,290	6,805,325	4,173,135	2,632,190
総費用 (B)	7,288,770	4,499,936	2,788,834	6,986,887	4,260,812	2,726,075
純損益	△560,873	△590,329	29,456	△181,562	△87,677	△93,885
比率(A)/(B)	92.3	86.9	101.1	97.4	97.9	96.6

総収益 67 億 2,789 万 7 千円に対して総費用 72 億 8,877 万円で、差し引き 5 億 6,087 万 3 千円の純損失となっている。この結果、前年度繰越欠損金 23 億 5,591 万 8 千円を加え、当年度未処理欠損金(累積欠損金)は、29 億 1,679 万 1 千円となっている。

病院別の状況については、弥栄病院の総収益は 39 億 960 万 7 千円、総費用は 44 億 9,993 万 6 千円で、差し引き 5 億 9,032 万 9 千円の純損失となり、当年度未処理欠損金は、12 億 9,188 万 8 千円となっている。医業収益は 32 億 6,118 万 4 千円で、前年度に比べて 2 億 6,544 万 7 千円 (7.5%) 減少、医業費用も 39 億 5,483 万 4 千円と、前年度に比べて 5,584 万 4 千円 (1.4%) 減少し、医業損失は 6 億 9,365 万円で前年度と比べ 2 億 960 万 3 千円の増となり、悪化している。

次に、久美浜病院の総収益は 28 億 1,829 万円、総費用は 27 億 8,883 万 4 千円で、差し引き 2,945 万 6 千円の純利益となり、当年度未処理欠損金は 16 億 2,490 万 3 千円となっている。医業収益は 22 億 4,329 万 3 千円で、前年度に比べて 1 億 6,236 万 7 千円 (7.8%) の増加となった。医業費用も 25 億 9,780 万 4 千円と、前年度に比べて 5,178 万 9 千円 (2.0%) 増加しており、医業損失は 3 億 5,451 万 1 千円で前年度と比べ 1 億 1,057 万 8 千円の減となり、好転している。

また、総収支比率は、別表 23 のとおり 92.3%と 2 年連続の純損失となった。

医業における経営状態を示す比率は、次のとおりである。

(別表 20 参照)

(単位：%)

区 分	平成 30 年度			平成 29 年度		
		弥栄病院	久美浜病院		弥栄病院	久美浜病院
経常収支比率	94.9	92.0	99.4	96.6	97.5	95.0
医業収益対医業費用比率	84.7	83.0	87.1	86.2	88.5	82.7

経常収支比率は、収益と費用を対比して経営活動の成果を示すものであり、比率が大きいほど良好であるが、前年度に比べて 1.7 ポイントの低下（弥栄病院 5.5 ポイントの低下、久美浜病院 4.4 ポイントの上昇）となった。

医業収益対医業費用比率は、医業費用に対する医業収益の比率を示すものであり、100%未満は医業収支が赤字であることになる。前年度に比べて 1.5 ポイントの低下（弥栄病院 5.5 ポイントの低下、久美浜病院 4.4 ポイントの上昇）となり、弥栄病院の経営状態は悪化、久美浜病院は好転している結果となった。

(4) 財政状態（税抜）

貸借対照表による財政状態は、次のとおりである。

(別表 24～27 参照)

(単位：千円)

区 分	平成 30 年度			平成 29 年度			
		弥栄病院	久美浜病院		弥栄病院	久美浜病院	
資 産	固定資産	9,047,819	7,093,925	1,953,894	8,099,387	5,992,137	2,107,250
	流動資産	1,433,836	822,709	611,127	1,475,939	791,002	684,937
	計	10,481,655	7,916,634	2,565,021	9,575,326	6,783,139	2,792,187
負 債	固定負債	7,364,456	5,951,846	1,412,610	6,303,222	4,660,311	1,642,911
	流動負債	2,085,129	1,104,491	980,638	1,779,134	760,375	1,018,759
	繰延収益	1,125,922	616,346	509,576	1,035,699	533,048	502,651
	計	10,575,507	7,672,683	2,902,824	9,118,055	5,953,734	3,164,321
資 本	資本金	496,753	427,953	68,800	496,753	427,953	68,800
	剰余金	△590,605	△184,002	△406,603	△39,482	401,452	△440,934
	計	△93,852	243,951	△337,803	457,271	829,405	△372,134
負債資本合計	10,481,655	7,916,634	2,565,021	9,575,326	6,783,139	2,792,187	

資産の総額は 104 億 8,165 万 5 千円で、前年度に比べて 9 億 632 万 9 千円 (9.5%) 増加している。

固定資産は、総額では 9 億 4,843 万 2 千円の増であったが、内訳として建物が 38 億 279 万 3 千円の増、構築物が 2 億 4,356 万 6 千円の増、建設仮勘定が 31 億 7,115 万 4 千円の減となった。建設仮勘定については、前年度に弥栄病院改築整備等工事等

に係るものが挙がっていたことが影響して、大きく減少している。

流動資産である個人が窓口で支払うべき診療費の未収金の状況は、次のとおりである。

平成31年3月31日現在

(単位：千円)

区 分	平成30年度			平成29年度		
		弥栄病院	久美浜病院		弥栄病院	久美浜病院
未 収 金	56,953	35,021	21,932	59,604	39,475	20,129
不納欠損	104	104	0	752	738	14
債権放棄	104	104	—	752	738	14
債権消滅	0	0	—	0	0	0

未収金の総額は5,695万3千円で、前年度に比べて265万1千円（弥栄病院は445万4千円の減、久美浜病院は180万3千円の増）減少している。令和元年5月31日現在の未収金の総額は4,500万9千円で、前年度に比べて186万9千円（弥栄病院は122万7千円の減、久美浜病院は309万6千円の増）増加している。経営の健全化を推し進める観点からも、診療費の滞納整理については引き続き積極的な対応を求めるものである。

負債の総額は105億7,550万7千円で、前年度に比べて14億5,745万2千円(16.0%)増加している。固定負債の増加は、企業債10億6,683万8千円の増加によるものであり、流動負債の増加は、一時借入金2億3,000万円、企業債7,496万6千円増加したことなどによるものである。

資本の総額は△9,385万2千円で、前年度に比べて5億5,112万3千円(120.5%)減少している。

企業債の状況は次のとおりである。

(決算書P37, P53, P67, P68, P77, P78 参照)

(単位：千円)

区 分	平成29年度末 残高	平成30年度		平成30年度末 残高	平成30年度 支払利息
		発行額	償還額		
弥栄病院	4,829,892	1,558,700	206,786	6,181,806	34,451
久美浜病院	1,888,622	35,600	245,710	1,678,512	35,343
合 計	6,718,514	1,594,300	452,496	7,860,318	69,794

企業債残高は、78億6,031万8千円で、前年度に比べて11億4,180万4千円(17.0%)増加している。施設整備及び医療器械購入のため、両病院で15億9,430万円を新たに借り入れており、中でも弥栄病院の改築整備工事に係るものが償還額を大きく上回ったことが、残高増加の一因となっている。

病院別の状況については、弥栄病院では、企業債残高は 61 億 8,180 万 6 千円で、前年度に比べて 13 億 5,191 万 4 千円 (28.0%) 増加している。企業債利息は 3,445 万 1 千円で、医業収益 32 億 6,118 万 4 千円に占める割合は 1.1% (前年度 0.6%) と増加している。

次に、久美浜病院では、企業債残高は 16 億 7,851 万 2 千円で、前年度に比べて 2 億 1,011 万円 (11.1%) 減少している。企業債利息は 3,534 万 3 千円で、医業収益 22 億 4,329 万 3 千円に占める割合は 1.6% (前年度 1.9%) と減少している。

(5) むすび

平成 29 年 3 月、「京丹後市立病院改革プラン【改訂版】」が策定され、平成 30 年度はその 2 年目として、地域医療を担う公立病院としての役割を果たすべく、経営の健全化に向けて職員が知恵を出し合い、一丸となって経営の効率化に取り組まれた。

病院の医療体制について、弥栄病院では、外科の常勤医師の不在が解消されず、救急患者の受入態勢が十分ではない状況であった。また、内科医師が年度途中で 2 人減となり、産婦人科医師が急逝するなど予期せぬ事態が発生し、厳しい医療体制となった。久美浜病院では、整形外科の診療体制が安定し、救急医療体制の充実が図られた一方で、内科医師が不足している状況であった。常勤医師の不足を補完すべく、京都府立医科大学、京都府立医科大学附属北部医療センター等から医師の派遣を受けるなど、地域住民が安心できる医療体制の確保に努めたことは評価できる。しかしながら、外来診療に加えて入院診療の体制を安定的に維持するには依然として常勤医師が不足しており、引き続き多方面からの招へい活動に尽力されたい。

また、京都市内、神戸市内の 4 病院から研修医 37 人を受け入れ、将来の地域医療を担う人材の育成に取り組まれた結果、医療体制の補完や常勤医師の負担軽減につながったことについても評価する。

平成 27 年度から弥栄病院に設置されている京都府立医科大学との共同研究講座「長寿・地域疫学講座」では、平成 29 年 8 月から本格的な健診を実施し、平成 30 年度末には受診者数が 357 人に達するなど順調に進捗している。調査結果等については、弘前大学のコホート研究との連携が予定されており、将来的に長寿者の多い京丹後市域における健康・長寿要因の解明と、研究結果を生かした健康長寿施策の一層の充実につながることを期待される。

経常収支について、両病院共に医師体制が不十分な状況の中、また、弥栄病院では改築整備事業工事の影響がある中、収益増加につながる取組をそれぞれが工夫し実施したが、3 年連続の赤字決算となった。病院別に見ると、弥栄病院では、入院、外来収入が共に減少して赤字となり、久美浜病院では、入院、外来収入が共に増加した一方で、給与費などが増加しており、赤字となった。収支の改善には、安定的に入院、外来収入を確保することが肝要であり、診療科ごとの患者数、診療収入などに注目し、患者のニーズに応えられるよう常勤医師の拡充や各部門の連携を図ることによって、

医療体制を強化する必要がある。

個人が窓口で支払うべき診療費の未収金については、前年度に比べ減少している。電話及び文書による督促や訪問徴収に加え、弁護士法人への回収業務の委託やクレジットカードによる支払を導入しているが、依然、多額の未収金がある。今後も関係部局等と連携して未収金の回収と収納率の向上に努めるとともに、現年分の新たな未収金の発生を防ぐため、窓口での啓発や個別対応を実施するなど、負担の公平性の観点からも、債権の適正な管理と徴収に努められたい。

市の人口が年々減少し、また少子高齢化の一途をたどる中、市の財政については平成 27 年度から普通交付税などの合併特例措置の逡減が始まり、より厳しさが増す状況である。一般会計からの繰入れについては、基準内であることに安住することなく、厳しい経営状況を踏まえ危機感をもって改善への取組を強化され、繰入額が少しでも縮減されることを期待する。

市立診療所も含めた市全体の医療体制については、将来にわたって地域医療、救急医療、産科・小児科医療、在宅医療、リハビリ等、幅広く必要な医療を提供し、公的医療施設に求められる役割が十二分に果たせるよう、経営改善への具体的な方策をもって持続可能な運営に努める必要がある。病院施設及び設備についても長期的な展望に立って計画的に整備し、患者サービス及び医療の質の向上のため有益に活用されたい。また、合併前からの課題である病院用地の借地問題について、その借地は病院施設の地上権が設定されているものの、市有地にすべきであり、解決するよう努められたい。

医療を取り巻く環境の変化や多様化する患者のニーズを的確に把握し、今後も、全職員が経営感覚を常に念頭に置きながら、各病院の特色を生かして医療サービスの向上と経費削減に取り組まれたい。そして、地域に密着した必要な医療等のサービスを提供し続けるためにも、持続的、安定的な経営基盤が確立されるよう強く望むものである。

水道事業会計 決算審査資料

別表 1	水道事業の概要	18
別表 2	収益的収支予算決算比較（税込）	19
別表 3	資本的収支予算決算比較（税込）	20
別表 4	損益計算書（税抜）	21
別表 5	経営の安定度に関する指標	22
別表 6	資産	23
別表 7	負債	23
別表 8	資本金	24
別表 9	剰余金	24
別表 10	未収金及び不納欠損額（税込）	25

病院事業会計 決算審査資料

別表 1 1	病院事業の概要	26
別表 1 2	入院患者・外来患者の状況	27
別表 1 3	訪問看護の状況	27
別表 1 4	通所リハビリテーションの状況	27
別表 1 5	診療科目別入院患者の状況（一般病床）	28
別表 1 6	診療科目別入院患者の状況（療養病床）	29
別表 1 7	診療科目別外来患者の状況	30
別表 1 8	病床利用率	31
別表 1 9	患者 1 人 1 日当たり診療収入	31
別表 2 0	収支比率	31
別表 2 1	収益的収支（税込）	32
別表 2 2	資本的収支（税込）	33
別表 2 3	損益計算書（税抜）	34
別表 2 4	資産	36
別表 2 5	負債	36
別表 2 6	資本金	37
別表 2 7	剰余金	37

(注) 表中の数値は、基本的に表示数値未満を四捨五入(収入率及び執行率は、小数点第2位を切捨て)しているため、合計と内訳の計が一致しない場合がある。

別表 1

水道事業の概要

項目	年度	平成30年度 (A)	平成29年度 (B)	対前年比	
				増減(C) (A-B)	比率(C/B*100)
給水件数 (件)		13,604	13,532	72	0.5%
給水人口 (人)		29,294	29,679	△ 385	△ 1.3%
配水量					
年間総配水量 (m ³)		4,213,083	4,280,458	△ 67,375	△ 1.6%
一日最大配水量 (m ³)		14,181	15,381	△ 1,200	△ 7.8%
一日最小配水量 (m ³)		10,225	10,190	35	0.3%
一日平均配水量 (m ³)		11,543	11,727	△ 184	△ 1.6%
有収水量					
年間総有収水量 (m ³)		3,340,879	3,332,740	8,139	0.2%
有効率 (%)		81.19	79.72	1.47	1.8%
有収率 (%)		79.30	77.86	1.44	1.8%
供給単価 (円)		184円94銭	184円76銭	18銭	0.1%
給水原価 (円)		201円68銭	198円84銭	2円84銭	1.4%
資本費 (円)		104円91銭	104円83銭	8銭	0.1%
管路総延長 (km)		362.5	361.6	0.9	0.2%
石綿管総延長 (km)		6.9	6.9	0.0	0.0%
石綿管布設率 (%)		1.9	1.9	0.0	0.0%

- ・給水人口 定住人口による集計
- ・有効率 $\text{年間総有効水量} / \text{年間総配水量} \times 100$
浄水場から送られた水が途中で漏水することなく、一般世帯などで有効に使用された水量（漏水量を除いた水量）の割合を示す指標
- ・有効水量 有収水量＋無収水量（メーター不感知分、消火栓使用分、管洗浄分等）
- ・有収率 $\text{年間総有収水量} / \text{年間総配水量} \times 100$
浄水場から送られた水がどれだけ料金徴収の基礎となったかを示す指標。数値が高いほど施設効率が良いことを示し、低い場合は漏水、メーターの不感、公共用水、消防用水等いくつかの要因が考えられる
- ・供給単価 $\text{給水収益} / \text{年間総有収水量}$
有収水量1 m³当たりについて、どれだけの収益を得ているかを示す指標。
- ・給水原価 $(\text{経常費用} - \text{長期前受金戻入} - \text{受託工事費}) / \text{年間総有収水量}$
有収水量1 m³作るために、どれだけの費用がかかっているかを示す指標。
- ・資本費 $(\text{支払利息} + \text{減価償却費} - \text{長期前受金戻入}) / \text{年間総有収水量}$

別表 2 水道事業収益の収支予算決算比較（税込）

（1）収 入

（単位：千円、％）

科 目 \ 項 目	予 算 額 ①	決 算 額 ②	増減額 ②－①	収 入 率 ②／①
水道事業収益	721,303	722,234	931	100.1
営業収益	643,832	676,650	32,818	105.0
給水収益	635,087	667,289	32,202	105.0
その他営業収益	8,745	9,361	616	107.0
営業外収益	77,471	45,584	△ 31,887	58.8
受取利息及び配当金	288	665	377	230.9
他会計補助金	935	935	0	100.0
長期前受金戻入	34,953	30,473	△ 4,480	87.1
雑収益	1,295	1,406	111	108.5
消費税及び地方消費税還付金	40,000	12,105	△ 27,895	30.2

（2）支 出

（単位：千円、％）

科 目 \ 項 目	予 算 額 ①	決 算 額 ②	不用額 ①－②	執 行 率 ②／①
水道事業費用	829,593	720,667	108,926	86.8
営業費用	746,222	664,527	81,695	89.0
原水及び浄水費	229,124	198,374	30,750	86.5
配水及び給水費	82,213	69,502	12,711	84.5
業務費	29,619	28,630	989	96.6
総係費	41,437	39,974	1,463	96.4
減価償却費	348,399	325,672	22,727	93.4
資産減耗費	15,430	2,375	13,055	15.3
営業外費用	59,255	56,140	3,115	94.7
支払利息及び企業債取扱諸費	58,534	55,297	3,237	94.4
雑支出	721	843	△ 122	116.9
特別損失	23,616	0	23,616	0.0
資産減耗費	23,616	0	23,616	0.0
予備費	500	0	500	0.0
予備費	500	0	500	0.0

別表3 水道事業資本の収支予算決算比較（税込）

(1) 収入

（単位：千円、％）

科目 \ 項目	予算額 ①	決算額 ②	増減額 ②-①	収入率 ②/①
資本の収入	1,033,517	Ⓐ 495,280	△ 538,237	47.9
加入金	6,073	7,136	1,063	117.5
加入金	6,073	7,136	1,063	117.5
企業債	549,000	245,100	△ 303,900	44.6
企業債	549,000	245,100	△ 303,900	44.6
補助金	1,344	1,344	0	100.0
他会計補助金	1,344	1,344	0	100.0
出資金	477,100	241,700	△ 235,400	50.6
他会計出資金	477,100	241,700	△ 235,400	50.6

(2) 支出

（単位：千円、％）

科目 \ 項目	予算額 ①	決算額 ②	翌年度 繰越額③	不用額 ①-②-③	執行率 ②/①
資本の支出	1,360,691	Ⓑ 760,820	584,274	15,597	55.9
建設改良費	1,204,054	604,184	584,274	15,596	50.1
固定資産取得費	17,910	9,621	0	8,289	53.7
施設改良事業費	159,976	90,169	62,500	7,307	56.3
中野浄水場更新整備事業費	1,026,168	504,394	521,774	0	49.1
企業債償還金	156,637	156,636	0	1	99.9
企業債償還金	156,637	156,636	0	1	99.9

(3) 資本の収入額が資本の支出額に対して不足する額

（単位：千円）

項目	金額	備考
資本の収支差引額	Ⓐ-Ⓑ	△ 265,540
補填財源	265,540	
消費税及び地方消費税資本の収支調整額	44,226	
繰越工事資金	0	
過年度分損益勘定留保資金	221,314	
当年度分損益勘定留保資金	0	
利益剰余金	0	

別表 4 水道事業損益計算書（税抜）

（単位：千円、％）

年度 項目	平成30年度 ①	平成29年度 ②	対前年比	
			金額③ (①-②)	比率③/②*100
水道事業収益 (A)	660,461	667,378	△ 6,917	△ 1.0
営業収益 (C)	627,079	625,097	1,982	0.3
給水収益	617,860	615,768	2,092	0.3
その他の営業収益	9,219	9,329	△ 110	△ 1.2
営業外収益	33,382	42,281	△ 8,899	△ 21.0
受取利息及び配当金	666	275	391	142.2
他会計補助金	935	1,064	△ 129	△ 12.1
長期前受金戻入	30,473	38,703	△ 8,230	△ 21.3
雑収益	1,308	2,239	△ 931	△ 41.6
水道事業費用 (B)	704,256	701,377	2,879	0.4
営業費用	648,169	642,702	5,467	0.9
原水及び浄水費	186,952	184,445	2,507	1.4
配水及び給水費	66,790	61,775	5,015	8.1
業務費	27,181	26,300	881	3.3
総係費	39,199	36,843	2,356	6.4
減価償却費	325,672	329,458	△ 3,786	△ 1.1
資産減耗費	2,375	3,881	△ 1,506	△ 38.8
その他営業費用	0	0	0	—
営業外費用	56,087	58,675	△ 2,588	△ 4.4
支払利息 (D)	55,297	58,612	△ 3,315	△ 5.7
雑支出	790	63	727	1,154.0
特別損失	0	0	0	—
過年度損益修正損	0	0	0	—
資産減耗費	0	0	0	—
その他特別損失	0	0	0	—
当年度純損益 (A)-(B)	△ 43,795	△ 33,999	△ 9,796	28.8
総収支比率 (A)/(B)	93.8	95.2	△ 1.4	/
支払利息/営業収益 (D)/(C)	8.8	9.4	△ 0.6	/

別表5 水道事業経営の安定度に関する指標

(単位：%)

年度		平成30年度	平成29年度	平成28年度	備 考
項目					
総収支比率		93.8	95.2	87.9	$\frac{\text{総収益}}{\text{総費用}} \times 100$ 経営収支の均衡度を総収益対費用の関係で見る指標。高い数値の方が好ましい。この率が100%未満であれば、純損失を生じている。
	類似団体全国平均値	—	108.8	114.6	
経常収支比率		93.8	95.2	87.9	$\frac{\text{営業収益} + \text{営業外収益}}{\text{営業費用} + \text{営業外費用}} \times 100$ 特別損益を除いた経常的な収支の関係を見る指標。高い数値の方が好ましい。100%を超える場合は単年度黒字を、100%未満は単年度赤字を表す。
	類似団体全国平均値	—	109.1	114.6	
営業収支比率		96.7	97.3	88.8	$\frac{\text{営業収益} - \text{受託工事費収益}}{\text{営業費用} - \text{受託工事費}} \times 100$ 通常の営業活動に要する費用を、営業活動に必要なものとして徴収している給水収益等の営業収益で、どの程度賄っているかを示す指標。高い数値の方が好ましい。100%未満の場合は健全経営とはいえない。
	類似団体全国平均値	—	98.1	106.3	

別表 6

水道事業資産

(単位：千円、%)

項目		年度		対前年比	
		平成30年度 (A)	平成29年度 (B)	金額(C) (A-B)	比率(C/B*100)
固定資産	土地	363,602	363,602	0	0.0
	建物	215,592	222,758	△ 7,166	△ 3.2
	構築物	3,883,130	3,948,141	△ 65,011	△ 1.6
	機械及び装置	1,457,501	1,599,410	△ 141,909	△ 8.9
	車両運搬具	4,031	4,461	△ 430	△ 9.6
	工具器具及び備品	14,695	15,399	△ 704	△ 4.6
	建設仮勘定	552,417	90,586	461,831	509.8
	小計	6,490,968	6,244,357	246,611	3.9
流動資産	現金預金	1,473,510	1,091,343	382,167	35.0
	未収金	100,541	79,266	21,275	26.8
	貯蔵品	7,299	7,143	156	2.2
	前払金	17,357	71,860	△ 54,503	△ 75.8
	その他流動資産	0	0	0	—
	小計	1,598,707	1,249,612	349,095	27.9
合計		8,089,675	7,493,969	595,706	7.9

別表 7

水道事業負債

(単位：千円、%)

項目		年度		対前年比	
		平成30年度 (A)	平成29年度 (B)	金額(C) (A-B)	比率(C/B*100)
固定負債	企業債	2,793,015	2,701,055	91,960	3.4
	引当金	25,444	25,444	0	0.0
	その他固定負債	0	0	0	—
	小計	2,818,459	2,726,499	91,960	3.4
流動負債	一時借入金	0	35,900	△ 35,900	皆減
	企業債	153,140	156,636	△ 3,496	△ 2.2
	未払金	461,819	79,881	381,938	478.1
	前受金	0	35,900	△ 35,900	皆減
	引当金	7,557	7,492	65	0.9
	その他流動負債	7,430	1,002	6,428	641.5
	小計	629,946	316,811	313,135	98.8
繰延収益	長期前受金	1,590,894	1,568,833	22,061	1.4
	収益化累計額	△ 759,156	△ 729,801	△ 29,355	4.0
	小計	831,738	839,032	△ 7,294	△ 0.9
合計 (ア)		4,280,143	3,882,342	397,801	10.2

別表8 水道事業資本金

(単位：千円、%)

項目		年度		対前年比	
		平成30年度 (A)	平成29年度 (B)	金額(C) (A-B)	比率(C/B*100)
自己資本金	自己資本金	3,039,502	2,797,802	241,700	8.6
借入資本金	企業債	—	—	—	—
合計 (イ)		3,039,502	2,797,802	241,700	8.6

別表9 水道事業剰余金

(単位：千円、%)

項目		年度		対前年比	
		平成30年度 (A)	平成29年度 (B)	金額(C) (A-B)	比率(C/B*100)
資本剰余金	再評価積立金	1,972	1,972	0	0.0
	加入金	17,883	17,883	0	0.0
	補助金	67,948	67,948	0	0.0
	受贈財産評価額	267,845	267,845	0	0.0
	寄附金	3,243	3,243	0	0.0
	工事負担金	35,637	35,637	0	0.0
	補償金	—	—	—	—
小計		394,528	394,528	0	0.0
利益剰余金	減債積立金	3,600	3,600	0	0.0
	建設改良積立金	127,328	127,328	0	0.0
	当年度未処分利益剰余金	244,574	288,369	△ 43,795	△ 15.2
	(うち当年度純利益)	(△ 43,795)	(△ 33,999)	(△ 9,796)	(△ 28.8)
小計		375,502	419,297	△ 43,795	△ 10.4
合計 (ウ)		770,030	813,825	△ 43,795	△ 5.4

資本合計 (イ)+(ウ)	3,809,532	3,611,627	197,905	5.5
負債資本合計 (ア)+(イ)+(ウ)	8,089,675	7,493,969	595,706	7.9

別表 10 水道事業未収金及び不納欠損額（税込）

平成31年3月31日現在

（単位：円、件）

	未 収 金				不 納 欠 損			
	平成30年度		平成29年度		平成30年度		平成29年度	
	件数	金額	件数	金額	件数	金額	件数	金額
平成30年度	14,807	55,062,175			0	0		
平成29年度	634	2,352,477	14,689	60,915,582	0	0	8	15,022
平成28年度	615	2,596,378	699	2,831,091	3	3,126	2	7,259
平成27年度	586	2,226,027	647	2,397,104	10	23,518	15	79,569
平成26年度	622	2,243,554	707	2,440,164	27	45,845	14	83,700
平成25年度	600	2,016,659	680	2,216,366	32	42,720	16	23,420
平成24年度	959	3,168,779	1,068	3,435,706	26	46,140	32	52,061
平成23年度	896	2,968,400	962	3,197,237	16	47,200	33	53,270
平成22年度	1,138	3,964,241	1,213	4,183,945	20	48,610	40	286,440
平成21年度	1,046	3,711,670	1,145	4,028,673	27	72,250	33	343,640
平成20年度	730	2,455,765	800	2,682,332	17	39,460	30	196,730
平成19年度	526	1,913,635	554	1,988,136	7	10,170	18	33,260
平成18年度	492	1,664,086	536	1,722,866	25	23,750	29	110,340
平成17年度	344	1,336,782	370	1,406,302	14	14,580	17	48,870
平成16年度	272	1,121,972	291	1,170,490	11	11,090	10	40,000
平成15年度	384	1,985,854	415	2,076,491	13	17,500	12	89,720
平成14年度	316	1,559,380	342	1,649,865	13	19,070	30	325,795
平成13年度	282	888,374	294	919,603	2	2,620	16	103,550
平成12年度	192	682,505	200	690,554	0	0	0	0
平成11年度	191	734,433	192	735,403	0	0	1	11,540
平成10年度	155	643,550	158	661,395	0	0	7	71,405
平成9年度	125	548,370	125	548,530	0	0	12	141,105
平成8年度	112	484,670	117	510,024	0	0	3	18,120
平成7年度	59	279,640	61	283,244	0	0	0	0
平成6年度	54	143,950	54	143,950	0	0	0	0
平成5年度	44	109,654	53	123,612	0	0	0	0
合 計	26,181	96,862,980	26,372	102,958,665	263	467,649	378	2,134,816

令和元年5月31日現在

（単位：円、件）

	平成30年度		平成29年度		差引増減		備 考
	件数	金額	件数	金額	件数	金額	
現年度 滞納水道料金	980	3,163,426	1,142	3,788,525	△ 162	△ 625,099	
過年度 滞納水道料金	11,217	41,297,522	11,683	42,043,083	△ 466	△ 745,561	
合 計	12,197	44,460,948	12,825	45,831,608	△ 628	△ 1,370,660	

別表 1 1

病院事業の概要

項 目		単位	弥 栄 病 院			久 美 浜 病 院				
			平成30年度	平成29年度	対前年比 (H30-H29)	平成30年度	平成29年度	対前年比 (H30-H29)		
医 業	病床数 ※1	床	199	200	△ 1	170	170	0		
		年間延	床	72,849	73,000	△ 151	62,050	62,050	0	
	患 者 数	入 院	年間延	人	52,843	59,119	△ 6,276	55,364	54,375	989
			1日平均	人	144.8	162.0	△ 17.2	151.7	149.0	2.7
		外 来	年間延	人	98,025	98,101	△ 76	77,178	74,864	2,314
			1日平均	人	401.7	403.7	△ 2.0	316.3	306.8	9.5
	病床利用率		%	72.5	81.0	△ 8.5	89.2	87.6	1.6	
	外来診療実日数		日	244	243	1	244	244	0	
	医業費用(税抜)		千円	3,954,834	4,010,678	△ 55,844	2,597,804	2,546,015	51,789	
	医業収益(税抜)		千円	3,261,184	3,526,631	△ 265,447	2,243,293	2,080,926	162,367	
入 院 外 来 収 益 (税 抜)	入 院	総 額	千円	1,684,986	1,946,224	△ 261,238	1,508,586	1,398,508	110,078	
		1人1日 平 均	円	31,887	32,920	△ 1,033	27,249	25,720	1,529	
	外 来	総 額	千円	1,407,242	1,413,440	△ 6,198	654,477	595,842	58,635	
		1人1日 平 均	円	14,356	14,408	△ 52	8,480	7,959	521	
訪 問 看 護 事 業	訪問実人数		人	2,700	2,619	81	1,243	1,027	216	
	訪問延人数		人	11,091	10,524	567	6,046	4,874	1,172	
	1日平均 訪問患者数		人	45.5	43.1	2.4	24.8	20.0	4.8	
通 所 リ ハ ビ リ テ ー シ ョ ン 事 業	通所実人数		人	/	/	/	577	631	△ 54	
	通所延人数		人	/	/	/	3,974	4,107	△ 133	
	1日平均 通所患者数		人	/	/	/	16.3	16.8	△ 0.5	
職 員 数 (年 度 末 現 在)	医 師		人	8	11	△ 3	17	17	0	
	看 護 師 ※2		人	128	128	0	95	96	△ 1	
	そ の 他		人	65	64	1	34	34	0	
	計		人	201	203	△ 2	146	147	△ 1	

※1 平成30年10月31日までは200床

※2 職員数の看護師には准看護師及び助産師を含む

別表 12 入院患者・外来患者の状況

(単位：人、%)

区 分		年 度	平成30年度		平成29年度		対前年比 (H30/H29)	
			延患者数 (A)	1日平均 患者数	延患者数 (B)	1日平均 患者数	増減 (C) = (A-B)	比率 (C)/(B) ×100
入 院	一般病床 (260床) 合 計		73,494	201.4	79,328	217.3	△ 5,834	△ 7.4
	弥栄病院 (150床) ※1		37,220	102.0	44,271	121.3	△ 7,051	△ 15.9
	久美浜病院 (110床)		36,274	99.4	35,057	96.0	1,217	3.5
	療養病床 (110床) 合 計		34,713	95.1	34,166	93.6	547	1.6
	弥栄病院 (49床) ※2		15,623	42.8	14,848	40.7	775	5.2
	久美浜病院 (60床)		19,090	52.3	19,318	52.9	△ 228	△ 1.2
外 来	合 計		175,203	718.0	172,965	710.5	2,238	1.3
	弥栄病院 (診療実日数：244日)		98,025	401.7	98,101	403.7	△ 76	△ 0.1
	久美浜病院 (診療実日数：244日)		77,178	316.3	74,864	306.8	2,314	3.1

※1 平成29年11月24日までは152床

※2 平成29年11月24日までは48床、平成29年11月25日から平成30年10月31日までは50床

別表 13 訪問看護の状況

(単位：人)

区 分		平成30年度			平成29年度			対前年比	
		訪 問 実人数 (A)	訪 問 延人数 (B)	1日平均 訪 問 患者数	訪 問 実人数 (C)	訪 問 延人数 (D)	1日平均 訪 問 患者数	増減 (A)-(C)	増減 (B)-(D)
合 計		3,943	17,137	70.3	3,646	15,398	63.1	297	1,739
弥栄病院		2,700	11,091	45.5	2,619	10,524	43.1	81	567
久美浜病院		1,243	6,046	24.8	1,027	4,874	20.0	216	1,172

別表 14 通所リハビリテーションの状況

(単位：人、%)

区 分		平成30年度			平成29年度			対前年比	
		通 所 実人数 (A)	通 所 延人数 (B)	1日平均 通 所 患者数	通 所 実人数 (C)	通 所 延人数 (D)	1日平均 通 所 患者数	増減 (A)-(C)	増減 (B)-(D)
合 計		577	3,974	16.3	631	4,107	16.8	△ 54	△ 133
弥栄病院									
久美浜病院		577	3,974	16.3	631	4,107	16.8	△ 54	△ 133

別表15 診療科目別入院患者の状況(一般病床)

診療科	年度	平成30年度			平成29年度			対前年比 (H30-H29)	
		延患者数 人	1日平均 患者数 人	構成比率 %	延患者数 人	1日平均 患者数 人	構成比率 %	延患者数 人	1日平均 患者数 人
弥栄病院									
150 床 ※	内科	21,153	58.0	56.8	25,025	68.6	56.5	△ 3,872	△ 10.6
	外科	0	0.0	0.0	0	0.0	0.0	0	0.0
	整形外科	7,791	21.3	20.9	10,616	29.1	24.0	△ 2,825	△ 7.8
	産婦人科	3,847	10.5	10.4	5,351	14.7	12.1	△ 1,504	△ 4.2
	小児科	0	0.0	0.0	0	0.0	0.0	0	0.0
	耳鼻咽喉科	0	0.0	0.0	0	0.0	0.0	0	0.0
	眼科	1,514	4.2	4.1	1,475	4.0	3.3	39	0.2
	泌尿器科	0	0.0	0.0	0	0.0	0.0	0	0.0
	人工透析	2,915	8.0	7.8	1,804	4.9	4.1	1,111	3.1
	リハビリテーション科	0	0.0	0.0	0	0.0	0.0	0	0.0
	皮膚科	0	0.0	0.0	0	0.0	0.0	0	0.0
	総合診療科	0	0.0	0.0	0	0.0	0.0	0	0.0
	精神科	0	0.0	0.0	0	0.0	0.0	0	0.0
	小計	37,220	102.0	100.0	44,271	121.3	100.0	△ 7,051	△ 19.3
久美浜病院									
110 床	内科	19,866	54.4	54.8	20,761	56.9	59.2	△ 895	△ 2.5
	外科	4,725	13.0	13.0	3,687	10.1	10.5	1,038	2.9
	整形外科	3,965	10.9	10.9	2,480	6.8	7.1	1,485	4.1
	小児科	2,272	6.2	6.3	2,300	6.3	6.5	△ 28	△ 0.1
	皮膚科	0	0.0	0.0	0	0.0	0.0	0	0.0
	眼科	174	0.5	0.5	265	0.7	0.8	△ 91	△ 0.2
	耳鼻咽喉科	0	0.0	0.0	0	0.0	0.0	0	0.0
	泌尿器科	1,133	3.1	3.1	1,128	3.1	3.2	5	0.0
	歯科・歯科 口腔外科	4,139	11.3	11.4	4,436	12.1	12.7	△ 297	△ 0.8
	心療内科・ 精神科	0	0.0	0.0	0	0.0	0.0	0	0.0
	小計	36,274	99.4	100.0	35,057	96.0	100.0	1,217	3.4
合計	73,494	201.4		79,328	217.3		△ 5,834	△ 15.9	

※平成29年11月24日までは152床

別表 16

診療科目別入院患者の状況（療養病床）

診療科	年 度	平成30年度			平成29年度			対前年比 (H30-H29)	
		延患者数 人	1日平均 患者数 人	構成比率 %	延患者数 人	1日平均 患者数 人	構成比率 %	延患者数 人	1日平均 患者数 人
49床 ※	弥栄病院								
	内 科	15,623	42.8	100.0	14,848	40.7	100.0	775	2.1
	外 科	0	0.0	0.0	0	0.0	0.0	0	0.0
	整形外科	0	0.0	0.0	0	0.0	0.0	0	0.0
	産婦人科	0	0.0	0.0	0	0.0	0.0	0	0.0
	小児科	0	0.0	0.0	0	0.0	0.0	0	0.0
	耳鼻咽喉科	0	0.0	0.0	0	0.0	0.0	0	0.0
	眼 科	0	0.0	0.0	0	0.0	0.0	0	0.0
	泌尿器科	0	0.0	0.0	0	0.0	0.0	0	0.0
	人工透析	0	0.0	0.0	0	0.0	0.0	0	0.0
	リハビリテーション科	0	0.0	0.0	0	0.0	0.0	0	0.0
	皮膚科	0	0.0	0.0	0	0.0	0.0	0	0.0
	総合診療科	0	0.0	0.0	0	0.0	0.0	0	0.0
	精神科	0	0.0	0.0	0	0.0	0.0	0	0.0
小 計	15,623	42.8	100.0	14,848	40.7	100.0	775	2.1	
60床	久美浜病院								
	内 科	13,803	37.8	72.3	15,886	43.5	82.2	△ 2,083	△ 5.7
	外 科	2,090	5.7	11.0	840	2.3	4.4	1,250	3.4
	整形外科	1,717	4.7	9.0	566	1.5	2.9	1,151	3.2
	小児科	63	0.2	0.3	0	0.0	0.0	63	0.2
	皮膚科	0	0.0	0.0	0	0.0	0.0	0	0.0
	眼 科	0	0.0	0.0	0	0.0	0.0	0	0.0
	耳鼻咽喉科	0	0.0	0.0	0	0.0	0.0	0	0.0
	泌尿器科	1,417	3.9	7.4	2,026	5.6	10.5	△ 609	△ 1.7
	歯科・歯科 口腔外科	0	0.0	0.0	0	0.0	0.0	0	0.0
	心療内科・ 精神科	0	0.0	0.0	0	0.0	0.0	0	0.0
	小 計	19,090	52.3	100.0	19,318	52.9	100.0	△ 228	△ 0.6
合 計	34,713	95.1		34,166	93.6		547	1.5	

※平成29年11月24日までは48床、平成29年11月25日から平成30年10月31日までは50床

別表 17

診療科目別外来患者の状況

診療科		平成30年度			平成29年度			対前年比 (H30-H29)	
		延患者数 人	1日平均 患者数 人	構成比率 %	延患者数 人	1日平均 患者数 人	構成比率 %	延患者数 人	1日平均 患者数 人
弥 栄 病 院	内科	25,933	106.3	26.5	26,234	108.0	26.7	△ 301	△ 1.7
	外科	690	2.8	0.7	1,285	5.3	1.3	△ 595	△ 2.5
	整形外科	20,941	85.8	21.4	21,089	86.8	21.5	△ 148	△ 1.0
	産婦人科	10,622	43.5	10.8	11,106	45.7	11.3	△ 484	△ 2.2
	小児科	3,459	14.2	3.5	3,247	13.4	3.3	212	0.8
	耳鼻咽喉科	1,902	7.8	1.9	1,487	6.1	1.5	415	1.7
	眼科	16,097	66.0	16.4	16,882	69.5	17.2	△ 785	△ 3.5
	泌尿器科	1,416	5.8	1.4	1,418	5.8	1.5	△ 2	0.0
	人工透析	8,032	32.9	8.2	8,153	33.5	8.3	△ 121	△ 0.6
	リハビリテーション科	771	3.1	0.8	611	2.5	0.6	160	0.6
	皮膚科	2,048	8.4	2.1	1,943	8.0	2.0	105	0.4
	総合診療科	2,992	12.3	3.1	2,740	11.3	2.8	252	1.0
	精神科	3,122	12.8	3.2	1,906	7.8	2.0	1,216	5.0
	小計	98,025	401.7	100.0	98,101	403.7	100.0	△ 76	△ 2.0
久 美 浜 病 院	内科	31,250	128.1	40.5	30,385	124.5	40.6	865	3.6
	外科	4,962	20.3	6.4	4,352	17.8	5.8	610	2.5
	整形外科	5,546	22.7	7.2	6,384	26.2	8.5	△ 838	△ 3.5
	小児科	10,237	42.0	13.3	9,116	37.4	12.2	1,121	4.6
	皮膚科	1,230	5.1	1.6	1,253	5.1	1.7	△ 23	0.0
	眼科	3,625	14.9	4.7	3,420	14.0	4.6	205	0.9
	耳鼻咽喉科	1,322	5.4	1.7	1,191	4.9	1.6	131	0.5
	泌尿器科	2,765	11.3	3.6	3,057	12.5	4.1	△ 292	△ 1.2
	歯科・歯科 口腔外科	15,990	65.5	20.7	15,447	63.3	20.6	543	2.2
	心療内科・ 精神科	251	1.0	0.3	259	1.1	0.3	△ 8	△ 0.1
	小計	77,178	316.3	100.0	74,864	306.8	100.0	2,314	9.5
合計	175,203	718.0		172,965	710.5		2,238	7.5	

別表18 病床利用率

(単位：%)

区分	算出方法	年度		平成30年度	平成29年度	平成28年度	対前年比 (H30-H29)
		病院					
一般病床	$\frac{\text{年延入院患者数}}{\text{年延病床数}} \times 100$	合計		77.4	83.2	81.6	△ 5.8
		弥栄病院		68.0	80.2	78.6	△ 12.2
		久美浜病院		90.3	87.3	85.9	3.0
療養病床	$\frac{\text{年延入院患者数}}{\text{年延病床数}} \times 100$	合計		86.8	86.1	87.4	0.7
		弥栄病院		86.3	83.5	83.9	2.8
		久美浜病院		87.2	88.2	90.2	△ 1.0

別表19 患者1人1日当たり診療収入

(単位：円)

区分	算出方法	年度		平成30年度	平成29年度	平成28年度	対前年比 (H30-H29)
		病院					
入院診療収入 (一般病床)	$\frac{\text{入院収益}}{\text{年延入院患者数}}$	合計		34,460	34,651	31,806	△ 191
		弥栄病院		37,281	37,924	33,635	△ 643
		久美浜病院		31,566	30,518	29,494	1,048
入院診療収入 (療養病床)	$\frac{\text{入院収益}}{\text{年延入院患者数}}$	合計		19,041	17,442	16,774	1,599
		弥栄病院		19,036	18,000	16,756	1,036
		久美浜病院		19,045	17,013	16,787	2,032
外来診療収入	$\frac{\text{外来収益}}{\text{年延外来患者数}}$	合計		11,768	11,617	11,547	151
		弥栄病院		14,356	14,408	14,161	△ 52
		久美浜病院		8,480	7,959	8,109	521
訪問看護収入	$\frac{\text{訪問看護事業収益}}{\text{年延訪問看護患者数}}$	合計		9,154	9,192	9,264	△ 38
		弥栄病院		9,355	9,209	9,482	146
		久美浜病院		8,785	9,156	8,787	△ 371
通所リハビリ収入	$\frac{\text{通所リハビリ事業収益}}{\text{年延通所患者数}}$	合計		9,765	10,198	9,916	△ 433
		弥栄病院					
		久美浜病院		9,765	10,198	9,916	△ 433

別表20 病院事業収支比率

(単位：%)

区分	算出方法	年度		平成30年度	平成29年度	平成28年度	対前年比 (H30-H29)
		病院					
経常収支比率	$\frac{\text{医業収益+医業外収益+訪問看護事業収益+通所リハビリ事業収益}}{\text{医業費用+医業外費用+訪問看護事業費用+通所リハビリ事業費用}} \times 100$	合計		94.9	96.6	99.7	△ 1.7
		弥栄病院		92.0	97.5	99.9	△ 5.5
		久美浜病院		99.4	95.0	99.6	4.4
医業収益対 医業費用比率	$\frac{\text{医業収益+訪問看護事業収益+通所リハビリ事業収益}}{\text{医業費用+訪問看護事業費用+通所リハビリ事業費用}} \times 100$	合計		84.7	86.2	88.5	△ 1.5
		弥栄病院		83.0	88.5	90.2	△ 5.5
		久美浜病院		87.1	82.7	85.9	4.4

別表 21

病院事業収益の収支（税込）

（単位：千円）

区 分		平成30年度			平成29年度		
		計	弥栄病院	久美浜病院	計	弥栄病院	久美浜病院
収益的収入	医 業 収 益	5,523,681	3,273,106	2,250,575	5,627,135	3,538,162	2,088,973
	医 業 外 収 益	966,026	532,138	433,888	958,321	534,686	423,635
	訪問看護事業収益	156,869	103,752	53,117	141,544	96,917	44,627
	通所リハビリテーション事業収益	38,806		38,806	41,882		41,882
	特 別 利 益	64,176	13,918	50,258	59,230	17,257	41,973
	合 計	6,749,558	3,922,914	2,826,644	6,828,112	4,187,022	2,641,090
収益的支出	医 業 費 用	6,731,350	4,072,008	2,659,342	6,738,250	4,136,284	2,601,966
	医 業 外 費 用	121,272	68,098	53,174	93,969	39,322	54,647
	訪問看護事業費用	144,249	98,135	46,114	130,146	85,429	44,717
	通所リハビリテーション事業費用	36,380		36,380	31,918		31,918
	特 別 損 失	269,142	265,842	3,300	0	0	0
	予 備 費	0	0	0	0	0	0
	合 計	7,302,393	4,504,083	2,798,310	6,994,283	4,261,035	2,733,248

別表 22

病院事業資本の収支（税込）

（単位：千円）

区 分		平成30年度			平成29年度			
		計	弥栄病院	久美浜病院	計	弥栄病院	久美浜病院	
資 本 の 収 入	企 業 債	1,562,400	1,550,000	12,400	2,993,700	2,886,500	107,200	
	他 会 計 負 担 金	274,250	119,523	154,727	273,578	123,501	150,077	
	補 助 金	122,344	106,904	15,440	89,421	44,200	45,221	
	寄 附 金	0	0	0	0	0	0	
	長期貸付金返還金	3,750	1,875	1,875	1,800	900	900	
	小 計	1,962,744	1,778,302	184,442	3,358,499	3,055,101	303,398	
	補 填 財 源	消費税及び地方 消費税資本の 収支調整額	0	0	0	0	0	0
		繰越工事資金	0	0	0	0	0	0
		損 益 勘 定 金 留 保 資 金	197,948	99,729	98,219	198,724	102,541	96,183
		利 益 剰 余 金	0	0	0	0	0	0
		小 計	197,948	99,729	98,219	198,724	102,541	96,183
合 計	2,160,692	1,878,031	282,661	3,557,223	3,157,642	399,581		
資 本 の 支 出	建 設 改 良 費	1,696,646	1,665,470	31,176	3,094,781	2,940,025	154,756	
	企 業 債 償 還 金	452,496	206,786	245,710	448,192	210,567	237,625	
	長 期 貸 付 金	11,550	5,775	5,775	14,250	7,050	7,200	
	合 計	2,160,692	1,878,031	282,661	3,557,223	3,157,642	399,581	

別表 23

病院事業損益計算書（税抜）

（単位：千円）

区 分	年 度	平成30年度			平成29年度			対前年比(H30-H29)			対前年度比 計 (%) H30/H29 *100-100
		計	弥栄病院	久美浜病院	計	弥栄病院	久美浜病院	計	弥栄病院	久美浜病院	
病院事業収益 (A)		6,727,897	3,909,607	2,818,290	6,805,325	4,173,135	2,632,190	△ 77,428	△ 263,528	186,100	△ 1.1
医業収益		5,504,477	3,261,184	2,243,293	5,607,557	3,526,631	2,080,926	△ 103,080	△ 265,447	162,367	△ 1.8
入院収益		3,193,572	1,684,986	1,508,586	3,344,731	1,946,224	1,398,507	△ 151,159	△ 261,238	110,079	△ 4.5
外来収益		2,061,719	1,407,242	654,477	2,009,282	1,413,440	595,842	52,437	△ 6,198	58,635	2.6
その他の医業収益		249,186	168,956	80,230	253,544	166,967	86,577	△ 4,358	1,989	△ 6,347	△ 1.7
医業外収益		963,569	530,753	432,816	955,113	532,331	422,782	8,456	△ 1,578	10,034	0.9
受取利息配当金		6	4	2	9	7	2	△ 3	△ 3	0	△ 33.3
他会計補助金		0	0	0	0	0	0	0	0	0	—
補助金		27,707	15,114	12,593	31,365	15,811	15,554	△ 3,658	△ 697	△ 2,961	△ 11.7
負担金交付金		663,168	372,036	291,132	672,535	383,791	288,744	△ 9,367	△ 11,755	2,388	△ 1.4
患者外給食収益		2,037	1,590	447	1,874	1,604	270	163	△ 14	177	8.7
長期前受金戻入		222,419	119,379	103,040	209,339	107,590	101,749	13,080	11,789	1,291	6.2
その他医業外収益		48,232	22,630	25,602	39,991	23,528	16,463	8,241	△ 898	9,139	20.6
訪問看護事業収益		156,869	103,752	53,117	141,544	96,917	44,627	15,325	6,835	8,490	10.8
訪問看護療養費収益		144,900	95,948	48,952	131,092	90,072	41,020	13,808	5,876	7,932	10.5
利用料収益		11,969	7,804	4,165	10,452	6,845	3,607	1,517	959	558	14.5
通所リハビリテーション事業収益		38,806		38,806	41,882		41,882	△ 3,076		△ 3,076	△ 7.3
通所リハビリテーション療養費収益		32,260		32,260	34,699		34,699	△ 2,439		△ 2,439	△ 7.0
利用料収益		6,546		6,546	7,183		7,183	△ 637		△ 637	△ 8.9
その他事業収益		0		0	0		0	0		0	—
特別利益		64,176	13,918	50,258	59,229	17,256	41,973	4,947	△ 3,338	8,285	8.4
過年度損益修正益		0	0	0	0	0	0	0	0	0	—
長期前受金戻入		57,934	10,167	47,767	51,502	11,980	39,522	6,432	△ 1,813	8,245	12.5
その他特別利益		6,242	3,751	2,491	7,727	5,276	2,451	△ 1,485	△ 1,525	40	△ 19.2

(単位：千円)

区 分	年 度	平成30年度			平成29年度			対前年比(H30-H29)			対前年度比 計 (%) H30/H29 *100-100
		計	弥栄病院	久美浜病院	計	弥栄病院	久美浜病院	計	弥栄病院	久美浜病院	
病院事業費用	(B)	7,288,770	4,499,936	2,788,834	6,986,887	4,260,812	2,726,075	301,883	239,124	62,759	4.3
医業費用		6,552,638	3,954,834	2,597,804	6,556,693	4,010,678	2,546,015	△ 4,055	△ 55,844	51,789	△ 0.1
給与費		3,819,061	2,167,236	1,651,825	3,781,314	2,143,107	1,638,207	37,747	24,129	13,618	1.0
材料費		1,360,157	1,034,781	325,376	1,413,154	1,133,006	280,148	△ 52,997	△ 98,225	45,228	△ 3.8
経 費		906,415	475,999	430,416	927,351	496,733	430,618	△ 20,936	△ 20,734	△ 202	△ 2.3
減価償却費		427,058	251,679	175,379	390,772	214,188	176,584	36,286	37,491	△ 1,205	9.3
資産減耗費		12,857	12,857	0	15,076	9,941	5,135	△ 2,219	2,916	△ 5,135	△ 14.7
研究研修費		27,090	12,282	14,808	29,026	13,703	15,323	△ 1,936	△ 1,421	△ 515	△ 6.7
医業外費用		287,248	181,494	105,754	268,850	164,985	103,865	18,398	16,509	1,889	6.8
支払利息及び企業債取 扱諸費		70,828	35,368	35,460	63,613	23,527	40,086	7,215	11,841	△ 4,626	11.3
長期前払消費税償却		36,848	27,031	9,817	21,225	13,517	7,708	15,623	13,514	2,109	73.6
患者外給食材料費		1,833	1,635	198	1,621	1,604	17	212	31	181	13.1
雑損失		177,739	117,460	60,279	182,391	126,337	56,054	△ 4,652	△ 8,877	4,225	△ 2.6
訪問看護事業費用		143,662	97,766	45,896	129,682	85,149	44,533	13,980	12,617	1,363	10.8
給与費		137,185	93,591	43,594	124,631	82,179	42,452	12,554	11,412	1,142	10.1
材料費		179	39	140	166	41	125	13	△ 2	15	7.8
経 費		5,992	3,951	2,041	4,596	2,767	1,829	1,396	1,184	212	30.4
研究研修費		306	185	121	289	162	127	17	23	△ 6	5.9
通所リハビリテーション事 業費用		36,080		36,080	31,662		31,662	4,418		4,418	14.0
給与費		32,233		32,233	28,252		28,252	3,981		3,981	14.1
材料費		1,752		1,752	1,405		1,405	347		347	24.7
経 費		2,060		2,060	1,940		1,940	120		120	6.2
研究研修費		35		35	65		65	△ 30		△ 30	△ 46.2
特別損失		269,142	265,842	3,300	0	0	0	269,142	265,842	3,300	—
過年度損益修正損		0	0	0	0	0	0	0	0	0	—
その他特別損失		269,142	265,842	3,300	0	0	0	269,142	265,842	3,300	—
当年度純損益	(A)-(B)	△ 560,873	△ 590,329	29,456	△ 181,562	△ 87,677	△ 93,885	△ 379,311	△ 502,652	123,341	208.9
当年度未処理欠損金		2,916,791	1,291,888	1,624,903	2,355,918	701,559	1,654,359	560,873	590,329	△ 29,456	23.8
総収益対総費用比率 (A)/(B)		92.3	86.9	101.1	97.4	97.9	96.6	△ 5.1	△ 11.0	4.5	

(注) 制度改正に伴い、平成26年度以降の当年度未処理欠損金は、(前年度繰越欠損金+当年度純損益-その他未処分利益剰余金変動額)により計算

別表 24

病院事業資産

(単位：千円)

区分	年度	平成30年度末 償却未済高			平成29年度末 償却未済高		
		計	弥栄病院	久美浜病院	計	弥栄病院	久美浜病院
固定資産		9,047,819	7,093,925	1,953,894	8,099,387	5,992,137	2,107,250
有形固定資産		8,571,485	6,694,389	1,877,096	7,705,952	5,682,690	2,023,262
土地		511,889	101,999	409,890	511,889	101,999	409,890
建物		6,355,696	5,262,350	1,093,346	2,552,903	1,394,432	1,158,471
構築物		293,490	258,366	35,124	49,924	11,725	38,199
器械及び備品		1,352,021	1,021,100	330,921	1,361,424	949,515	411,909
車両		12,818	5,003	7,815	10,802	6,009	4,793
リース資産		45,571	45,571	0	47,856	47,856	0
建設仮勘定		0	0	0	3,171,154	3,171,154	0
無形固定資産		2,850	1,307	1,543	3,493	1,811	1,682
電話加入権		523	523	0	523	523	0
ソフトウェア		784	784	0	1,288	1,288	0
その他無形固定資産		1,543	0	1,543	1,682	0	1,682
投資		473,484	398,229	75,255	389,942	307,636	82,306
長期貸付金		38,250	19,125	19,125	37,050	18,525	18,525
長期前払消費税		435,234	379,104	56,130	352,892	289,111	63,781
流動資産		1,433,836	822,709	611,127	1,475,939	791,002	684,937
現金預金		429,527	212,096	217,431	409,565	122,199	287,366
未収金		983,752	598,986	384,766	1,042,492	653,194	389,298
貯蔵品		20,446	11,516	8,930	23,768	15,495	8,273
その他流動資産		111	111	0	114	114	0
合計		10,481,655	7,916,634	2,565,021	9,575,326	6,783,139	2,792,187

別表 25

病院事業負債

(単位：千円)

区分	年度	平成30年度末 現在高			平成29年度末 現在高		
		計	弥栄病院	久美浜病院	計	弥栄病院	久美浜病院
固定負債		7,364,456	5,951,846	1,412,610	6,303,222	4,660,311	1,642,911
企業債		7,332,855	5,920,245	1,412,610	6,266,017	4,623,106	1,642,911
リース債務		31,601	31,601	0	37,205	37,205	0
流動負債		2,085,129	1,104,491	980,638	1,779,134	760,375	1,018,759
一時借入金		970,000	490,000	480,000	740,000	180,000	560,000
企業債		527,463	261,561	265,902	452,497	206,786	245,711
リース債務		11,529	11,529	0	10,165	10,165	0
未払金		335,778	202,447	133,331	353,256	235,887	117,369
引当金		230,169	129,288	100,881	213,268	118,315	94,953
その他流動負債		10,190	9,666	524	9,948	9,222	726
繰延収益		1,125,922	616,346	509,576	1,035,699	533,048	502,651
長期前受金		4,373,140	2,157,924	2,215,216	4,018,461	1,960,977	2,057,484
長期前受金収益化累計額		△ 3,247,218	△ 1,541,578	△ 1,705,640	△ 2,982,762	△ 1,427,929	△ 1,554,833
負債合計(ア)		10,575,507	7,672,683	2,902,824	9,118,055	5,953,734	3,164,321

別表 26

病院事業資本金

(単位：千円)

年度 区分	平成 30 年度決算額			平成 29 年度決算額		
	計	弥栄病院	久美浜病院	計	弥栄病院	久美浜病院
固有資本金	28,065	15,532	12,533	28,065	15,532	12,533
出資金	71,267	15,000	56,267	71,267	15,000	56,267
組入資本金	397,421	397,421	0	397,421	397,421	0
資本金合計 (イ)	496,753	427,953	68,800	496,753	427,953	68,800

別表 27

病院事業剰余金

(単位：千円)

年度 区分	平成 30 年度決算額			平成 29 年度決算額		
	計	弥栄病院	久美浜病院	計	弥栄病院	久美浜病院
資本剰余金	2,326,186	1,107,886	1,218,300	2,316,436	1,103,012	1,213,424
受贈財産評価額	51,061	8,440	42,621	51,061	8,440	42,621
寄附金	8,075	6,075	2,000	8,075	6,075	2,000
他会計負担金	1,816,541	681,646	1,134,895	1,816,541	681,646	1,134,895
補助金	393,359	383,150	10,209	393,359	383,151	10,208
その他資本剰余金	57,150	28,575	28,575	47,400	23,700	23,700
利益剰余金 (a+b+c-d)	△ 2,916,791	△ 1,291,888	△ 1,624,903	△ 2,355,918	△ 701,560	△ 1,654,358
減債積立金 a	0	0	0	0	0	0
利益積立金 b	0	0	0	0	0	0
建設改良積立金 c	0	0	0	0	0	0
当年度未処理欠損金 d	2,916,791	1,291,888	1,624,903	2,355,918	701,560	1,654,358
(うち当年度純損益)	(△ 560,873)	(△ 590,329)	(29,456)	(△ 181,562)	(△ 87,677)	(△ 93,885)
剰余金合計 (ウ)	△ 590,605	△ 184,002	△ 406,603	△ 39,482	401,452	△ 440,934
資本合計 (イ)+(ウ)	△ 93,852	243,951	△ 337,803	457,271	829,405	△ 372,134
負債資本合計 (ア)+(イ)+(ウ)	10,481,655	7,916,634	2,565,021	9,575,326	6,783,139	2,792,187